


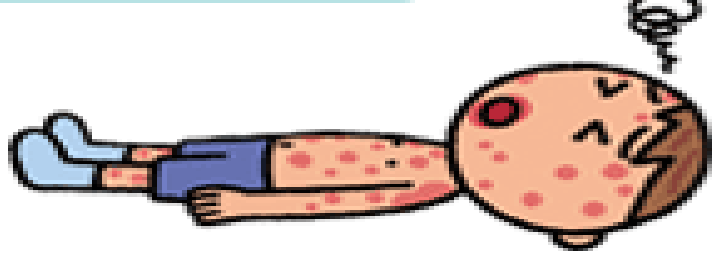

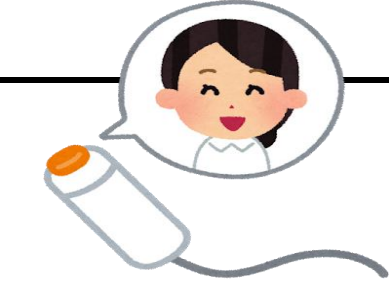

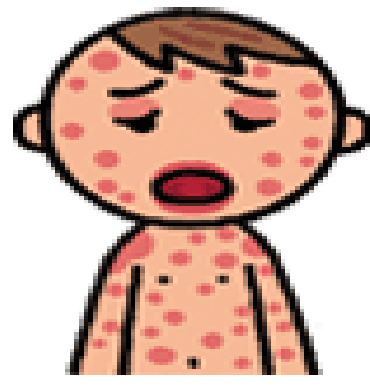
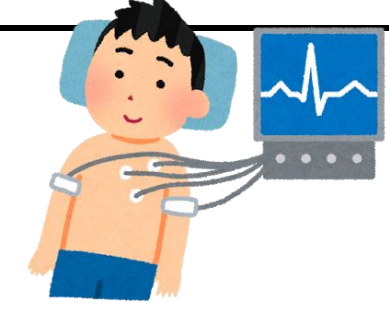


食物経口負荷試験を受けられる患者さんへ

<<ORIBP_KANJI>>様

	入院当日(検査当日) 月 日()	退院時 月 日()
目標	アレルギー症状の出現がなく、安全に食べられるかがわかる	アレルギー症状の出現がなく、退院することができる
安静度	室内安静となります、病室内で過ごしてください病室内であれば自由に動いても構いません	
食事	昼食は持参のお弁当を食べていただきます(主治医の診察があつてからの摂取になります)が、翌日退院の場合、夕食と翌日の朝食はアレルギー対応食を準備させていただきます	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 午前10時頃から病室内で、食物を食べてアレルギー反応が出ないか検査します 少量から始めて、問題ないことを確認しながら少しずつ食べる量を増やします 検査前、検査開始後30分毎に、体温・血圧・アレルギー症状の出現の有無を確認します(アレルギー症状については左の絵を参照してください) アレルギー症状が出現した場合には、必要に応じて点滴を実施することがあります 状況に応じて、血液検査やレントゲン撮影を実施することがあります 	<div style="border: 1px solid #00AEEF; padding: 5px;"> <p>呼吸器系の症状</p> <ul style="list-style-type: none"> 息切れ せき 呼吸音がゼーゼー、ヒューヒューする  <p style="text-align: center;">あるいは</p> <ul style="list-style-type: none"> 血圧の低下 倒れる 失禁する  </div>
内服	<ul style="list-style-type: none"> 持参薬の内容を確認しますので、看護師へ渡してください(入院時) アレルギー症状が出現した場合は、症状を和らげる薬を服用することがあります 	
注射	アレルギー症状が出現した場合には、必要であれば点滴やアドレナリン(持参あればエピペン)の筋肉注射をします	
排泄	特に制限はありません	
看護援助	<ul style="list-style-type: none"> 検査中状態の観察を行います。安全に検査が実施出来るよう援助します 検査中に体調変化、気分不良があればナースコールでお知らせください 薬、飲食物でアレルギーがある場合は、必ずお知らせください(入院時の問診票でお尋ねします)  	<div style="border: 1px solid #E91E63; padding: 5px;"> <p>皮膚の症状(全身)</p> <ul style="list-style-type: none"> じんましん かゆみ 皮膚が赤くなる  <p>粘膜の症状</p> <ul style="list-style-type: none"> くちびる、舌、口の中が腫れる まぶたが腫れる </div>
説明	<ul style="list-style-type: none"> 医師が病状、検査についての説明を行います 看護師が入院中の生活について説明を行います。 必要時、薬剤師、管理栄養士がお薬、食事について説明を行います アレルギー症状なく負荷試験が終了すれば、夕方の状態をみて退院して頂きます 入院中は、お子さんの傍を離れないようにお願いします 	<ul style="list-style-type: none"> 担当医が検査の結果、今後の方針、次回受診等についての説明を行います 看護師が退院についての説明を行います

なお、患者様の状態に応じて予定が変更になる場合があります
ご不明な点がございましたら、お尋ねください

主治医()看護師()薬剤師()

北播磨総合医療センター 小児科